



おわりに

今回で第3回目になるHZ研究会は、帯状疱疹関連疼痛（ZAP）のマネジメントを取り上げました。帯状疱疹治療は皮疹だけでなく疼痛とどのように向き合うかが重要です。疼痛治療にあたっては麻酔科医との連携が欠かせませんが、皮膚科医も疼痛マネジメントに対し研鑽を重ねていく必要があると思います。

最後に本研究会は実診療に即した講演内容が含まれるため、記録集である本冊子には一部、効能外や承認の用法・用量を超えた薬剤の使用等の記載があります。薬剤の安全性や保険適用されるかどうかについては、使用する医師自身が十分に吟味し、自らの責任のもとで使用する必要があると思います。

渡邊 大輔